

平成28年度 生涯学習推進専門講座 事業報告

○ 事業の概要

- 1 研究テーマ 地域住民の合意形成と絆の構築
～地方創生の時代に求められるコーディネーターの役割～
- 2 目的 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備として、コーディネートスキルなど、社会教育主事や地域コーディネーター等に求められる専門的な知識や技術について理解を深める。
- 3 主催 北海道立生涯学習推進センター
- 4 期 日 平成28年11月10（木）～ 11日（金）2日間
- 5 会 場 道民活動センタービル「かでの2・7」（710会議室）
- 6 対 象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）、生涯学習・関連施設職員、社会教育関係団体職員、民間団体（NPO、ボランティア、企業等）関係者 等
- 7 参加状況 参加者数 41名〔社会教育関係職員17名 社会教育関係職員以外24名（定員30名）〕

ブロック 管内	道 央			道 南				道 北			道 東			道外	
	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	林-ㇿ	十勝	釧路		根室
参加数	4	22	0	1	0	1	1	2	2	0	1	6	0	1	0
ブロック 人 数	26			3				4			8			0	
合計人数	41														



9:30		10:00		10:15		11:45		13:00		14:30		14:45		17:00	
11/10(木) 第1日目	受付	開会	基調講義				昼食	事例研究			ワークショップ①				
9:10		9:30		12:00				13:00		14:30					
11/11(金) 第2日目	受付	ワークショップ②				昼食	ワークショップ③			閉会					

8 プログラム

(1) 基調講義 「学び:自分と世界をつくり出す運動」 —地域に必要なコーディネータのあり方—

【講師】 東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤氏

【内容】

地域住民の主体的な学習や地域づくり、地域学校協働活動などが円滑に行われるために必要なコーディネーターの役割や求められるスキルについて、全国的な事例を紹介いただきながらお話をいただいた。



(2) 事例研究

「生徒の学びが地域に生きる ～三笠高等学校地域連携部の取組～」

【発表者】北海道三笠高等学校教諭 熊谷綾真氏

「地域の子どもは地域で育てる ～通学合宿での住民の合意づくり～」

【発表者】恵庭市教育委員会社会教育課主査 吉野裕太氏

【助言者】東京大学大学院教育学研究科教授 牧野篤氏

【内容】

地域住民とともに「学び」と「活動」を循環させている2つの先進的事例から、コーディネート機能を発揮する学校や行政の役割について理解を深めた。



(3) ワークショップ「住民が盛り上がる熟議のデザイン」

【進行】東京大学大学院教育学研究科教授 牧野篤氏

【内容】

地域の課題を共有し、どのようにして地域住民の合意形成や絆を構築していくか、地域住民が盛り上がる熟議を体験しながら、社会教育関係職員や地域のリーダーに必要なコーディネートスキルを学んだ。

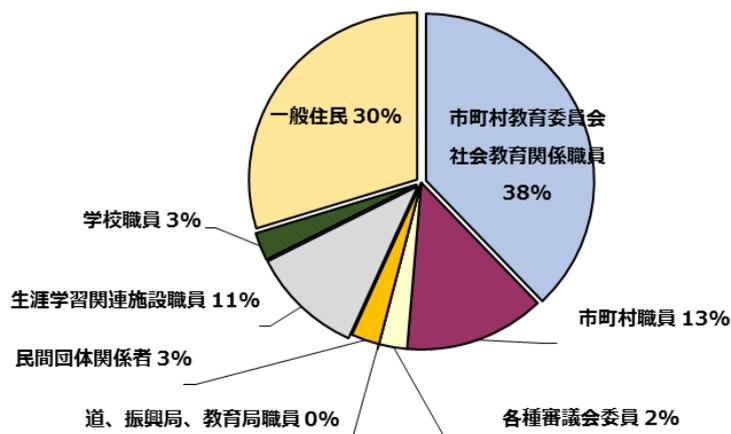
篤氏



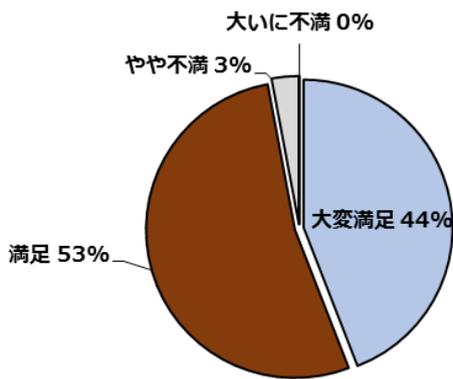
○ 事業の満足度

1 参加者（所属）の状況

回答者数 37名（回収率 90.2%）



2 セミナー全体への満足度

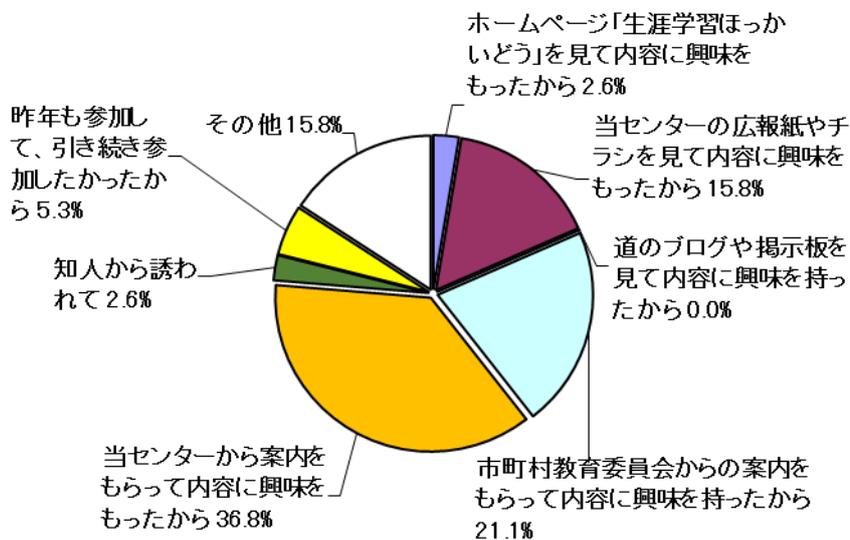


満足度	割合			
	大変満足・満足 97%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	44%	53%	3%	0%

【参加者の声】

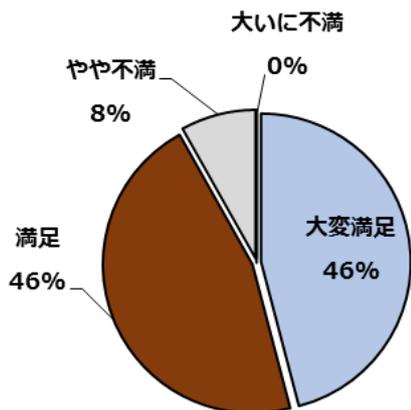
- 自分たちがすぐに取り組むことのできる内容でとても良かった。
- 全体の構成が良く、とてもスムーズに学ぶことができた。
- これまでの自分の不勉強さを認識することができ、大変学びの多い講座だった。今回の学びを職場でも共有したい。
- 他の生涯学習、社会教育関連の事業では学ぶことができない内容だった。

3 講座に参加した理由やきっかけ



4 各プログラムの内容についての満足度

(1) 基調講義

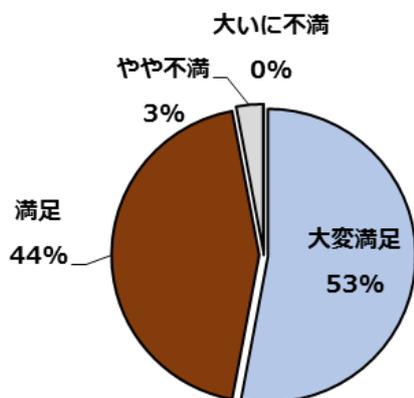


満足度	大いに不満			
	大いに不満	やや不満	満足	大変満足
	0%	8%	46%	46%

【参加者の気づきや発見】

- シニア世代の生涯学習を追求していくと、若者や子供たちの問題とつながってくると思った。
- 何よりもまずは、心と心を通わせることが大切だと強く感じた。
- 地域住民の参画に向けたヒントを得ることができた。
- 高齢社会に逆らうのではなく、その中でどのように取り組んでいくのか、視点の違う捉え方が非常に参考になった。
- 時間が足りず、後半の重要なところがかげ足となってしまったのが残念だった。

(2) 事例研究



満足度	大いに不満			
	大いに不満	やや不満	満足	大変満足
	0%	3%	44%	53%

【参加者の気づきや発見】

- 通学合宿の成果と課題の分析に学ぶべきものがあった。
- 地域住民とともに「学び」と「活動」を循環させている点がとても参考になった。
- 住民を巻き込んだ活動、その活動を広げていった背景を知ることができた。
- 活動の新しいカタチを感じた。
- それぞれの発表時間をもう少し長くしてほしい。

7 今後の要望等

【参加者の声】

- NPO 法人などの行政以外の活動などについて聞いてみたい。
- 首長部局の方のお話しも聞いてみたい。
- 地域人材の発掘の方法を学びたい。
- コーディネーター、ファシリテーターとしての力を身に付けられる講座を開催してほしい。